

歴史と出会うまちづくり船場城西の会 第211回定例会

■代表挨拶

■活動経過等報告

- ・まち歩き 10/24日 姫路城下の面影をたずねて(参加23名、スタッフ9名)
行在所の解錠がされていなかった。次回は前日に鍵を借りる等の措置をとりたい。
- ・まち歩き 11/21日 千姫ゆかりの地巡り(参加39名、資料は38部渡し、スタッフ7名)
原田光明堂にて2班に分けて欲しいとの要望があり、待機時間が生じる結果となった。

■第79回船場御坊楽市(12/5)

出店料を1000円に下げたが、出店者から色よい返事をもらえていない。引き続きお願いする。
出店手続等は当日に実施する。
今回の状況を見て3月以降のあり方を考えたい。

■除夜の鐘(12/31)

本年は敬愛館がなく、待合室のない完全屋外実施となる。
撞鐘記念票は作成するが、整理札は昨年を鑑み作成せずそのまま並んで貰うこととしたい。
集合時間も夜11時頃でじゅうぶんであり、接待もないのでスタッフ動員も無理のないように実施したい。
照明電源の確保が課題となるので、楽市実施時に段取りを確認しておきたい。
焚火の準備は12/31の朝9時に行い、焚火の後片付けは1月4日午前中に行いたい。
消毒スプレーや手袋は昨年同様用意する。

■姫路市まちづくり指導課ワークショップについて

城西地区出席者が少ないとのことで担当者より誰か出る人が他にいないかお願いがあった。

■その他

出席者 柴田武志 福田まり子 中山栄一郎 下山裕史 原隆 橋本博和 伊藤大典

挨拶 柴田代表 7か月振りの定例会、今月初めのまち歩きは参加者が多く、ご苦労様でした。明後日のまち歩きもよろしく。インフルエンザが流行ると聞く、注意しましょう。

進行 下山事務局が行う。

活動経過報告

- ・船場小学校「歴史と人に会うまち歩き」(6/21・月)
- ・敬愛館解体に伴う倉庫設置、備品移転作業(7/31～8/1)
- ・6月、9月の楽市は中止
- ・秋のまち歩き1回目(10/3・日)を振り返り
52名が参加(スタッフ10名)、緊急事態宣言明け、すぐでかえって多かったように思う。3班に分かれて、それぞれが少し違った案内をした。2班は声が小さいと言われた。途中で体調不良でリタイヤした人がいた。

当会の危機的財政状況について

事務局から状況を説明、会費納入強化、イベント実施による増収活動に取り組む。

まち歩き事業について

10/24・日 「姫路城下の面影をたずねて」 行在所の見学は御坊に依頼済、おもてなしの甘酒を橋本氏が用意する。リビング 姫路と神戸新聞に案内記事が掲載された。

11/21・日 「千姫ゆかりの地巡り」 原田光明堂に見学依頼済

姫路市まちづくり指導課ワークショップについて

参加依頼が来ており、橋本氏、(伊藤氏-不確定)が参加することに。

その他

初井家の動き 亡くなった初井知也氏のお姉さんから市文化財課に今後についての相談があった。しばらくはそのままだが、何れ動きがありそう。解体されないように願う。

藤森家の動き 樹木の剪定をしている位で、活用などの動きはない。市文化財課に当会で風を通し、清掃をすると言っているがトイレが使えるかどうかを調査してからと言われている。

次回定例会は日程について事務局から連絡する。